

◆国や山梨県の収入はどうなっているのだろう？

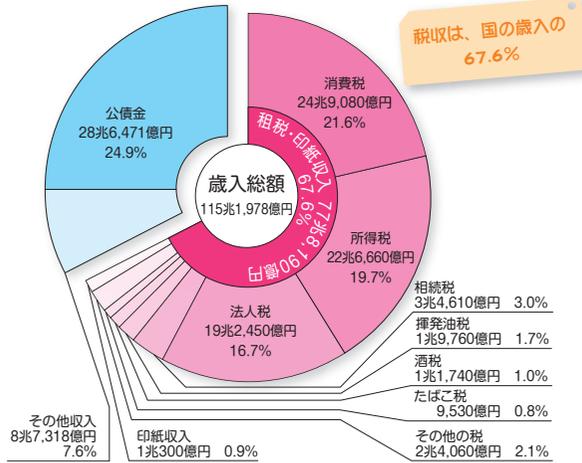
国や県は、4月から翌年3月までの「会計年度」という1年間の収入（歳入）や支出（歳出）を、あらかじめ見積もって計画します。この計画を「予算」といい、予算は、国会や県議会ではめられます。

国の歳入の内訳

令和7年度の歳入総額は、約115兆円という大きな額になっています。この歳入の内訳を見てみると、税金でまかなわれているのは、67.6%です。国の借金である「公債金」が24.9%となっています。

公債金について調べてみよう

(令和7年度一般会計当初予算)



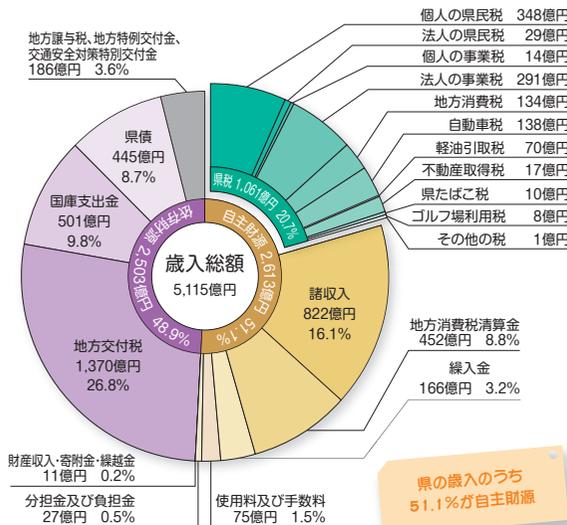
税金は、国の歳入の67.6%

山梨県の歳入の内訳

令和7年度の歳入総額は約5,115億円となっています。このうち、県税収入は、1,061億円で全体の20.7%、県税収入を含めた**自主財源**は、2,613億円で全体の51.1%です。また、地方交付税や県債（県の借金）など**依存財源**は、2,503億円で全体の48.9%となっています。

地方交付税・国庫支出金について調べてみよう

(令和7年度一般会計当初予算)



県の歳入のうち51.1%が自主財源

◆国や山梨県の支出はどうなっているのだろう？

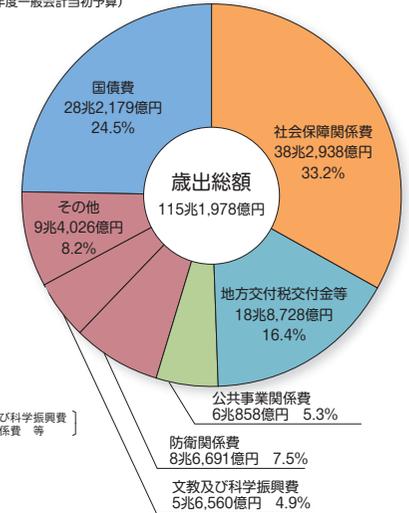
国の歳出の内訳

国の歳出の内訳を見ると、私たちが、より豊かで安心して生活できる社会を築くため、多くの費用があてられていることが分かります。

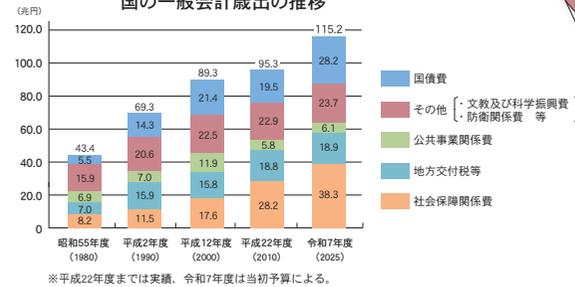
社会保障関係費は、歳出総額の33.2%と一番大きな割合を占めています。

次に**国債費**（国債の元本の返済、利子の支払いなどの費用）が続き、歳出総額の24.5%と高い割合になっています。

(令和7年度一般会計当初予算)



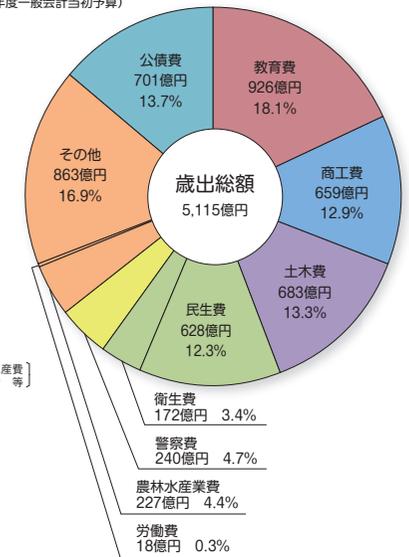
国の一般会計歳出の推移



山梨県の歳出の内訳

山梨県では、「県民生活の強じん化」を強力に推進するために、防災・減災対策や子育て支援の充実・人口減少危機対策などを早急な課題と位置付け新規事業を行うほか、地域経済基盤の強じん化、生活基盤の保障、教育の充実、地域経済の収益力向上に向けた様々な事業に取り組んでいます。

(令和7年度一般会計当初予算)



山梨県の一般会計歳出の推移

